

令和4年度 学校評価・学校関係者評価実施結果報告書

岡山県理容美容専門学校

1. 教育目標

本校は、実践的な理容・美容の職業教育を行い、これからの社会のニーズに対応できる優れた理容師・美容師を養成する理容美容専門学校である。

そのためには、一人一人の学生に基礎技術から専門的な技術・技能・知識の修得が出来るよう教育環境を整え、その中で理容・美容業の厳しさや楽しさなども体得させながら、理容・美容業に誇りを持った学生の育成に努めなければならない。そして、何より、理容・美容業がお客様に満足してもらえ技術とサービスを提供する業であることを認識させなければならない。

そこで、本校では従来から次の教育目標を掲げている。

- ・誠意----すべてのお客様に対して、真心を持って接することができるよう、日常において接客の心構えを持たせる。
- ・熱意----いかなる時でもお客様が満足できる結果が得られるよう、一生懸命頑張れる精神力を養う。
- ・創意----お客様に満足してもらえ必要な知識、技術、快適な施設や設備など、常日頃からよりよいものを創り出そうとする意識を持たせる。

これらの教育目標は、在学中はもとより理容・美容業に従事する上で、生涯持ち続けてほしいと願っている。

2. 本年度の重点目標と計画

① 国家試験合格体制の強化

理容科は、全員合格という目標を毎年連続で達成している。本年度は、理容科だけでなく美容科においても全員合格を目標に取り組んでいく。昨年度の重点目標でもあった筆記対策を強化した結果、理容科美容科とも筆記については100%を達成できた。美容科においては、特に衛生試験対策に重点を置き指導していく。

② 教育活動の充実

学生のモチベーションを高めるために、校外コンクールの減少した部分をカバーし、校内コンテストの充実を図る。

③ 新型コロナウイルス感染対策の徹底

新型コロナウイルスへの警戒感が薄れつつある中、再度消毒の徹底、換気の重要性等感染予防の指導を行う。

④ 防災教育の徹底

近年、毎年のように各地で自然災害（地震・台風・大雨・水害等）が発生している。本校は災害の少ない地域にあるが、災害と無縁とは言い切れない状況にあり、自然災害および火災などの事故発生時にどのように対応すべきか、防災教育や避難訓練等を行い、非常時の備え（携帯トイレ、水等）を確保し対応できるような体制を整えておく。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

番号	評価項目	評価
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④ 3 2 1 0
1-2	学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1 0
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1 0
1-4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

本校の教育目標に関しては、学生便覧に記載しており、各教室にも掲げている。入学時のオリエンテーションにて、学生便覧で確認しながら「誠意」「熱意」「創意」の意図していることを周知させている。学生への理解と周知度は、これらの取り組みによりまずまずの成果を挙げたものと思われる。コロナ禍にあり保護者と対面でのコミュニケーションをとる機会が減少している為、あらゆる機会を通じて学校に対する理解を深めていただく必要があると思われる。

② 今後の改善方策

年間100回前後アップしているホームページで様々な学校の取り組みを見ていただけるように学生を通じて周知し、来年度行われる70周年記念事業に絡め、後援会とも協力しながら学校の沿革、将来の構想など更なる周知に努める。

(2) 学校運営

番号	評価項目	評価
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1 0
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1 0
2-3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか有効に機能しているか	④ 3 2 1 0
2-4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	④ 3 2 1 0
2-5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1 0
2-6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1 0
2-7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1 0
2-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

例年通り令和4年度の学校運営方針は、前年度末の学園理事会において決定され、その後の職員会議において教職員に示されている。給与規定等についても明確にしておき、教職員が安心して勤務に専念できるよう、常に風通しの良い職場環境を第一に考えている。

社会全体の若者のモラルの低下が叫ばれている昨今、更なるコンプライアンス体制を整備していくことが求められる。

② 今後の改善方策

社会生活を円滑に営むためにも、接客業に従事する者としても、マナー・モラル・ルールの順守に努め、挨拶の励行に重点をおき、地域社会との共生を意識させる。

(3) 教育活動

番号	評価項目	評価
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1 0
3-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1 0
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1 0
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1 0
3-5	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置付けられているか	④ 3 2 1 0
3-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1 0
3-7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1 0
3-8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1 0
3-9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1 0
3-10	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1 0
3-11	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1 0
3-12	職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

コロナ禍で、昨年度までは職員の外部研修がオンラインであったり、中止になったりと実践的な研修が行われていなかったことにより職員の技術向上に影響を及ぼしていた。しかし、今年度からはコロナ以前の状態に戻り、外部研修に参加できるようになったことから学生への技術指導によい影響があったように感じられる。

② 今後の改善方策

職員の能力開発のための研修に積極的に参加し、最新の技術を学び修得し学生に還元すべきである。また、理容科美容科を両方備えた特色を生かし理容美容の垣根を超えた相互授業の実施を検討し、各業界の理解を深める。

(4) 学修成果

番号	評価項目	評価
4-1	就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1 0
4-2	資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1 0
4-3	退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1 0
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

退学率の低減については、令和3年度は理容科美容科ともに3%と近年ではとても低い退学率であったが、令和4年度は昨年度より高くなっている。昨年度と比べると高いが、例年並みの退学率である。昨年度の退学率が異常に低かったのは、令和3年度入学生が厳しい入試を経て入学してきた学生であったことに起因していると思われる。退学者は1年に多く2年で退学するものはほぼいないために、1年生のケアが退学率の低減に係わってくる。

② 今後の改善方策

(5)の学生支援にもつながることであるが、1年次に退学者を出さないよう教員間で情報を共有し退学率の低減に努める。

(5) 学生支援

番号	評価項目	評価
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1 0
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1 0
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1 0
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1 0
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1 0
5-6	学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1 0
5-7	保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1 0
5-8	卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1 0
5-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1 0

おいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

学生相談に関する体制は年度初めに担任面談、校長面談等整備されている。しかながら、精神的に問題を抱える学生も増加してきており、人間関係で悩む学生も増えてきて

いる。1年次にハイパーQUを実施しているが、注意すべきと診断された学生が休学、退学になっていることが多い現状となっている。

② 今後の改善方策

ハイパーQUの結果を重視し、夏休み前に注意すべき学生を対象に再度担任面談を実施し、休退学の低減に努める。常に身近に接している教員では対応しきれない場合を考慮しスクールカウンセラーの必要性についても検討する。

(6) 教育環境

番号	評価項目	評価
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1 0
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1 0
6-3	防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

コロナ禍にあり、実務実習を中止していたため業界で働くイメージを学生が捉え難い状態が続いていた。就職してからの離職率にも関わる問題になってくると思われるので、学生の感染対策について指導を徹底し実務実習を再開できるように検討する。

本年度の計画にもあったが、非常時の備え（携帯トイレ、水等）を確保し対応できるように万全の体制を整えた。

② 今後の改善方策

コロナが5類に移行することもあり、来年度は実務実習を再開できるように教育体制を整える。防災に関しても以前のようにAED講習を外部の業者に依頼しつつ、消防署と連携を図りながら地震体験車やVRでの火災訓練も検討し、学生の防災に対する意識を高める。

(7) 学生の受入れ募集

番号	評価項目	評価
7-1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	④ 3 2 1 0
7-2	学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1 0
7-3	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	④ 3 2 1 0
7-4	学生納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

学生学納金については、長年値上げなく運営してきたが物価上昇の為、今年度の募集から実習用具等の値上げをせざるを得なくなった。昨年度まではコロナ禍の為、技術体

験の形式をとることが出来ない募集活動となっていたが、今年度は、コロナ以前と同じようにはいかなかったが、他の体験入学生との触れ合いを極力避けながら消毒の徹底や手袋の使用など工夫しながら技術体験を実施できた。

② 今後の改善方策

コロナも5類に移行し、以前の状態に戻りつつあるがコロナが撲滅されたわけではないので、体験の内容を精査し実施に向けて計画をする。来年度も人数に制限を設けながら実施する等工夫し、徐々に緩和しながら本校を希望する学生が体験入学に参加できるよう体験入学の場を提供していく。

(8) 財務

番号	評価項目	評価
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1 0
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1 0
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1 0
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

本年度も本校の学園会計を指導する指吸会計センターから、本年度の学園会計は健全であり財政基盤は安定していることの報告を受けた。また、学園監事により学園・学校運営や資金収支においても適正であることの監査報告を受けている。なお、これからもより一層の透明性と健全経営を図っていく所存である。

② 今後の改善方策

昨年度から美容科の定員増を実施した。定員が充足したため、美容コースの3月一般入試は中止とした。今後は少子高齢化により入学者数の減少が見込まれる。退学者休学者を低減し授業料収入を中心とする財政基盤の安定と予算の厳格化に努めていく。

(9) 法令の遵守

番号	評価項目	評価
9-1	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1 0
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1 0
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1 0
9-4	自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

例年通り、理容師養成施設指定規則・美容師養成施設指定規則及び専修学校法に基づき適正に運営を行っている。

学生アンケートを前期・後期に2回実施し、各分類項目の分析を行い問題点の解決を

はかった。また、教職員による自己評価の結果に基づいて、学校関係者評価委員会において、客観的評価を得て学校運営の改善を行っている。

② 今後の改善方策

次年度においても関連する業界団体と連携協力し、自己評価での問題点や学校関係者評価での提言を受け入れて、よりよい学校づくりに励んでいきたい。

(10) 社会貢献・地域貢献

番号	評価項目	評価
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1 0
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

年に2回近隣の地域清掃を行っている。

また、物理的・時間的の許す限り社会貢献・地域貢献や他の教育機関との連携授業並びに施設使用の提供を行っている。今年度はうらじゃ祭りが復活したが、本校のうらじゃ連は参加者が少なく、コロナ以前の規模を下回っていた。※についてはコロナの影響により中止

- ・豪雨災害時における緊急避難場所-----岡山市大元学区連合町内会
- ・チャレンジワーク！お仕事体験教室-----岡山市立福田公民館※
- ・パラ×コレ(障がい者のファッションショー)-----パラコレ実行委員会※

② 今後の改善方策

引き続き地域清掃を行いながら更なる地域からの信頼獲得に努め、地域に根差した学校となれるよう学生の意識改革を行う。うらじゃに関しても、リーダーを中心に来年度は更に多くの参加者を募り学校全体として地域貢献に努めたい。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

令和4年度の学校運営について、在学者数並びに入学者数はここ数年連続して順調である。令和2年度の入試では近年にない厳しい入試となり、多くの学生を不合格にせざるを得なかったため令和3年度より美容科の入学定員を増員し、今年度も昨年度の定員を上回る入学生を迎えることができ学校運営の安定的基盤を築いている。

国家試験では、理容科は全員合格の100%を達成し、美容科は筆記試験においては、99.1%で実技試験においては、97.4%であった。コロナ関連での不受験も懸念されたが、常日頃から感染に対する取り組みの指導を徹底していたため、コロナ関連での不受験者はいなかった。

コロナ2年目までは、校外コンクールが軒並み中止となっていたが、今年度は全国学生技術大会が再開され、コロナ以前のように学生が活躍できるような外部コンテスト復活の兆しが見えた。

ただ、まだまだコロナ以前のような外部コンテストの数は開催されていなかったため、中規模校としてのスケールメリットを生かし学生のモチベーションを上げるために、今まではなかったような校内コンテストを企画し充実させた。学生からの評価も高く、コロナ禍にありながらも学

生の満足度を上げることができたのではないかと思う。